



学校だより

おりひがっこ

子どもたち一人一人が笑顔で過ごす学校をめざして



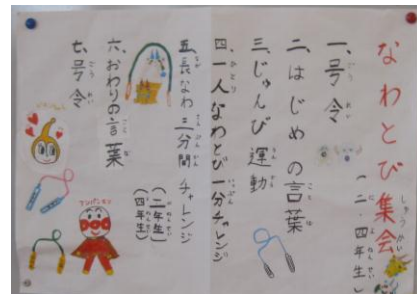
縦割りなわとび集会を楽しみました

2月3日(火)、子ども達が楽しみにしていた、なわとび集会が開かれました。折尾東小学校のなわとび集会は1年生から6年生まで全員がそろって行うのではなく、兄弟学年(1年生と6年生、2年生と4年生、3年生と5年生)に分かれてそれぞれで行われます。これは場所や時間の関係もありますが、異年齢の集団での教育的な効果を狙いの一つとしているからです。まずはじめに「よろしくお願ひいたします。」とあいさつをします。一緒に準備体操をした後、短縄を1分間跳び続ける種目に挑みます。低学年がするときには上学年が応援します。上学年がするときには低学年が見て応援します。そして次は上学年と低学年と一緒にチームをつくって3分間の長なわとびで何回跳べるかに挑戦します。高学年が上手に跳ぶのを低学年の子は感心して見えています。低学年の子がひっかかっても上学年の子が「ドンマイ!」と励ましています。とても、ほほえましい雰囲気でした。昔は近所のお兄ちゃんやお姉ちゃんと遊び、その中でルールやマナーなどを教えてもらうこともあったのですが、現代では社会構造の変化でしょうか、そのような機会も減ってきています。それだけに、学校で異年齢集団で活動を仕組む意義も大きいと感じました。



1・6年生 ←

プログラム →



2・4年生 →



3・5年生 →

おにはそと! 福はうち!

自分のよいところを伸ばし、よくなるところをがんばろう

2月3日(火)は節分です。節分は4つの季節の分かれめです。昔は立春から新しい年が始まっていたため、新年に福を呼ぶために、悪いことを起こす邪気をはらう様々な行事が行われるようになりました。節分におにをやっつけるのは、災害や病気など目に見えないおそろしい出来事がおこらないようにという人々の願いです。

福もおにも自分の外にあるものですが、少し視点を変えてみて、自分の中の「福」と「おに」について考えてみてはどうでしょうか。

自分の中にあるよいところは自分の「福」です。例えば「人に親切にする」「そうじや係の仕事を責任をもってする」「勉強やスポーツをがんばる」などです。

自分の中にあるもつとがんばれば伸びるところを自分の「おに」とします。例えば「なまけたい」「意地悪をする」などでしょうか。

誰もが自分の「福」と「おに」をもっています。大人も子どももです。そして一人一人の「福」と「おに」の中身も割合も違います。また、一人の中でも時期によって変化します。(調子が良いときは「福」が増え、調子が悪いときは「おに」が増えます。)

まずは、自分自身をよくみて、自分の「福」と「おに」に気が付くことが大切です。そして、どんなときにも希望を失わず、粘り強く「福」を伸ばし「おに」を退治し続けていくことが大切なのではないかと思ひます。

委員会活動

☆放送委員会

放送委員会は、交代で毎日、学校生活の流れを放送しています。朝の音楽、朝自習、給食時間、掃除の放送などをきちんと流すことで、子ども達の学校生活がスムーズに流れるようにしてくれています。(給食時間は曜日で内容を変えています。また、運動会や音楽会などの学校行事でも、進行を担当し、行事を盛り上げてくれています。)

1学期のはじめはぎこちないところもありますが、次第に慣れて上手になってきます。責任をもって取り組んでいます。



金	木	水	火	月
6日	5日	4日	3日	2日
クラシック	明日への伝言板	お話しの日	アイズ	今日の行事予定 スマイルタイム